

第3A(中)分科会 教育環境整備に関する課題

提案主題 魅力ある学校・授業づくりに向けて
サブテーマ ～ICTを活用した学校・授業のあり方について～
協議の柱 教頭として、ICTを活用した学校・授業づくりに向けての環境整備にどのように取り組んでいけばよいか。

提言者 大分市立上野ヶ丘中学校 吉田克伸

1 質 疑

- (1) Q (発表の中で)特に教頭として、ICTについて行ったことは？
A ・職員会議のペーパーレス化。(但し、ペーパーがよいという教員もいる。)
・テスト解答用紙のコピー(PDF化 40枚1～3分でできる。)

2 協 議 (グループ協議後の発表から)

- (1) 地域・保護者との連携について
・HP作成は校長、教頭が作成しているのが現状。通信等紙媒体が各家庭に届き渡らないこともあり、HPにすると有効か？反面、HPは閲覧習慣の定着が進まないと見ない方も多く、連絡が伝わらない面もある。また、HP作成は時間がかかるので、作成によい方法はないか？(ICT支援員の来校により助かる面も多い。)
- (2) 主体的に学んでいける授業づくりについて
・IPADや大型TVの台数を増やし、ICTを活用し、主体的に取り組む授業づくりの環境が整いつつある。(近年の猛暑を見ると、エアコンの整備が先か？)
・授業研究(互見授業など)におけるICTの効率活用については、教頭→教務→研究主任→学年部…のように芯の通った学校組織の中でのリーダーシップの発揮が重要。
- (3) 教師の仕事の効率化
・職員会議のペーパーレス化については、紙でないと不安な職員も多い。また、データ保存については、フォルダー作成の取り決めに従って行うことが必要。
・現在、校務支援ソフトにより、学校日誌・通知表・指導要録の作成に取り組んでいる。ICT支援員の援助により効率化が図られている地域もある。
・校務支援ソフトが市によって異なるが、県下で統一できるとよいのでは？

3 指導助言

- (1) ICTの活用による業務の効率化は、今後益々必要なことである。但し、データ保存における取り決めやデータの確実な保存と消去、職員個々人の技術の向上など、イニシアティブを取り、チームで取り組み進めていくことが大切。
- (2) HPは、こまめな更新が必要。多くの人ができるようにすることが大切。
- (3) ペーパーレス化は、統計によるとその後の印刷により紙の無駄遣いという結果も出ている。今後の工夫も必要か？